

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 670

事業名	但馬牛増頭促進事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025		項	農業費・1項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	畜産業費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	ふやさんが 食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		畜産団体、市和牛改良組合で認めた優良牛	対象人数(人) 117
	実施内容	意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		和牛の振興を図るため、県・市・J A が一体となって優秀な和牛の増頭に努める。	
背景	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	市・畜産事業所で各地区ごとに飼育頭数調査を実施し、優秀な保留牛の確認をし増頭に取り組んでいる。		
合併協議事務調整内容	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	兵庫県の実施する但馬牛増頭5ヵ年計画により優秀な和牛の増頭を目指し、和牛改良組合で承認し各畜産農家へ助成している。		
事業実施主体		<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 平成 22 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし	
(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)			
<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	年間増加頭数				指標単位 頭
	指標説明 (指標算出方法等)					
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値		100	100	100	
	実績値		148			
	達成度 (%)	-	148.0	-	-	
目標値設定の考え方						
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	本事業対象頭数				指標単位 頭
	指標説明 (指標算出方法等)					
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値		100	30	30	
	実績値		148			
	達成度 (%)	-	148.0	-	-	
目標値設定の考え方						
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	2,500	1,250	1,500	1,500	
	但馬牛増頭促進補助金	2,500	1,250	1,500	1,500	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	2,500	1,250	1,500	1,500	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	2,500	1,250	1,500	1,500		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	21.4	10.7	12.8	12.8		
受益者人数(117)1人当り経費(千円)	21.4	10.7	12.8	12.8		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	-	148.0	-	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 目標頭数100頭から148頭に増頭することができた。							5
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	成果向上率	%	-	-	-	-	
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 自家保留牛に対する助成であり、飼育農家の減少をくい止め経営の安定化に寄与している。						
							5
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	-	8.4	-	-	
	効率性増減率	%	-	-	-	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) すぐに効果の表れるものではないが、大きく経営の助けになっているものと思われる。							4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 飼育農家に限定した補助金という一面があるが、ニーズは高い。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	和牛飼育農家に限定した補助金であるが、後継者対策としても効果が期待できる。						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	畜産・酪農の振興のため継続していきたい。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 自家保留牛の減少に伴い、経営の零細化が進むのではないか。	